

読者が共感するスポーツ報道の記事構造 —Yahoo!ニュースの構造分析—

健康スポーツマネジメントコース

5025A304-3 木村俊太

研究指導教員：中村 好男 教授

【研究の背景】

スポーツの楽しみ方には「する」「みる」「ささえる」があると言われるが、これらに加えて多く人はスポーツを「読む」ことを楽しんでおり、彼らはスポーツ報道においても試合結果だけでなく、アスリートらの物語を求めている。物語にはパターン（構造）があるとする先行研究が数多く存在することから、読者が求めるスポーツ報道記事に書かれる物語にも、パターン（構造）があると考えられる。

また今日、スポーツ記事の主流は紙媒体から Web 媒体へと移行しているが、閲覧数の獲得が最優先され、センセーショナルな見出しで読者を煽る記事が散見されるようになっている。こうした現状に対し、Yahoo! は、記事の質を読者の反応によって可視化する「記事リアクションボタン」（「学びがある」「わかりやすい」「新しい視点」）を導入した。これらのボタンは記事読了後にクリックされる仕組みであり、ユーザーによるポジティブな評価や共感の指標として機能していると考えられる。

【研究の目的】

本研究は、スポーツ報道において読者が共感する記事構造を明らかにすることを目的とする。

【仮説の構築】

筆者のスポーツライターとしての経験から記事には「出来事」「内面語り」「価値づけ」「展望」の4要素で構成された記事が存

在するとの仮説を立てた。

【研究1の方法】

1 記事の収集：2025年7月26日から同年8月23日まで、Yahoo!ニュースのスポーツ・カテゴリーにトピックスとして掲載されたスポーツ記事371本を収集した。

2 辞書の作成：4つの構成要素（出来事、内面語り、価値づけ、展望）に対応する語彙辞書を作成した。基本語の抽出には既存の感情極性辞書に加え、実際のスポーツ記事から頻出語をAIにより抽出し、スポーツ報道特有の表現を網羅した。

3 構造の判定：作成した辞書に基づき、記事内の各文にタグを付与し、記事ごとに4要素のうちいくつかの要素が含まれているかを比較した。

【研究1の結果】

収集した371本の記事の、分類それぞれの記事数とその割合は以下のとおりである。

要素数	記事数	割合
4つすべて含まれている	83	22.4%
いずれか3つ	121	32.6%
いずれか2つ	91	24.5%
いずれか1つのみ	75	20.2%
どの要素も含まれていない	1	0.3%

「出来事」「内面語り」「価値づけ」「展望」の4要素がすべて含まれる記事が、371記事中83記事（22.4%）存在した。

【研究1の考察】

スポーツ報道記事中に「出来事」「内面語

り」「価値づけ」「展望」の4要素が含まれる記事が一定程度、存在することがわかった。この4要素はLabovの物語構造に関する先行研究「ラボビアンモデル」とも合致することから、スポーツ報道記事には物語構造を持つ記事が存在すると言える。

【研究2の背景】

物語の構造には順番が重要とする先行研究も存在する。

【研究2の目的】

「出来事」「内面語り」「価値づけ」「展望」という順番で書かれた記事とそうではない記事とで、記事リアクション数に差が出るかどうかを検証する。

【研究2の方法】

- 1 記事リアクション数の収集：研究1で収集した371記事ごとに、読者リアクション数を収集した。
- 2 順番の有無の判定：記事ごとに「出来事－内面語り－価値づけ－展望」の順番の有無を判定した。
- 3 順番の有無と記事リアクション数との関係の検証：順番のある記事とない記事とで、記事リアクション数に差があるかをt検定とU検定で検証した。

【研究2の結果】

グループ	記事数	リアクション数 平均値	リアクション数 中央値
4要素・順番あり	11	3,626.6	3,206.0
4要素・順番なし	72	1,887.0	1,199.5
3要素以上・順番なし	193	1,825.9	1,204.0
2要素以下	167	1,783.6	1,078.0

記事リアクション数は、平均値、中央値ともに、「4要素・順番あり（「出来事－内面語り－価値づけ－展望」の順番で書かれている記事）」が、それ以外の記事と比べて大きな値を示した。ただし、それぞれについてt検定、U検定を行った結果、統計的に有意とは言えなかった（ $P=0.12\sim 0.21$ ）。

【総合考察】

スポーツ報道記事には一定の割合で物語構造を持つものが存在することがわかった。また、4要素が「出来事－内面語り－価値づけ－展望」の順番で書かれた記事は、他の記事と比べて、記事リアクション数が平均値・中央値ともに大きく増えていた。キャンベルが「英雄譚は「出立－試練－帰還」という流れで語られる」と述べて要素の順番を重視したように、スポーツ報道記事にも物語要素の順番が読者の共感を高める一要因となる可能性が考えられる。

【結論】

Yahoo!ニュース・スポーツ報道記事の読者が共感する記事は「出来事」「内面語り」「価値づけ」「展望」という4つの要素がこの順番で書かれている構造である可能性が示唆された。

【研究の限界】

記事の収集期間が夏に限られたため、スポーツ記事がこの時期特有の偏った傾向がある可能性も否定できない。例えば高校野球やNPB、MLBといった野球の記事が他の時期よりも多かった可能性がある。

また統計的に有意とは言えなかったことから、別の変数の影響（大谷翔平選手の話題性など）も小さくないと考えられる。今後、こうした点を検証していきたい。